

令和 2年 10月 20日

## 患 者 さ ん へ

— 「LAS(Level Anchorage System)における治療期間短縮のための検討  
～Palatal Nance Lingual Arch 使用時のセファロ分析～」への参加ご協力をお願い（告知）—  
記

課題名：LAS(Level Anchorage System)における治療期間短縮のための検討  
～Palatal Nance Lingual Arch 使用時のセファロ分析～

実施責任者：所属 歯科矯正学講座 職名 教授 氏名 後藤滋巳

研究概要：矯正治療システムの一つである Level Anchorage System (LAS) は、当院で大人の矯正治療時に主に使用している方法です。LAS は7つの STEP に分けられており、各ステップに順じて治療を行えば確実に治療が進むという利点を有しています。しかし、LAS の治療手順は上顎と下顎と別々に治療を進めることが多く、特に顎間ゴムを使用する場合、上顎歯列の排列を行った後に顎間ゴムを併用した下顎の治療を開始することから、上顎歯列が並ぶまでの間、下顎歯列の治療待機期間が発生してしまいます。

そこで本研究では、上顎歯列の排列を行う代わりに、上顎に Palatal Nance Lingual Arch (P.N.L.A.) を装着して下顎の治療を先行して行い、顎間ゴムに対する P.N.L.A.の固定源としての有効性について検証し、治療結果を損なうことなく治療期間を短縮できる方法を確立することを目的としています。本研究の治療法の有効性が明らかになることによって、矯正治療を受ける患者さんがより短期間で良い矯正治療を受けることができるようになります。

対象者：2005年4月1日より愛知学院大学歯学部附属病院矯正歯科に来院し、マルチブラケット治療でLASを適応して治療を開始した患者のうち、下顎の治療を行う際に顎間ゴムを使用した（する）患者さんが対象となります。

個人情報の保護：研究成果が学術目的のために学術雑誌などに公表されることがありますが、その場合にも個人情報保護に関する法律に基づき、個人情報の保護は厳重に守られ、第三者に個人の名前や住所、性別がわからないようにします。  
また、この試験で得られたデータが本試験の目的以外に使用されることはありません。

対象者となる方でこの研究での試料使用に同意されない場合や、ご不明な点がございましたら、「連絡先」に申し出て下さい。

本研究は、愛知学院大学歯学部倫理委員会より承認を得て、告知を行っております。（承認番号：613）

以上

連絡先：〒464-8651 愛知県名古屋市千種区末盛通 2-11  
連絡先名称：愛知学院大学歯学部 歯科矯正学講座  
連絡先責任者名：宮澤 健  
Tel: 052-759-2111（内線:5378）